



# SASEBO WEEKLY

2006~2007年度テーマ **LEAD THE WAY** 率先しよう 2006~2007年度 R.I.会長 **ウィリアム・ビル・ポイド**

佐世保ロータリークラブ 会長●中島 祥一 幹事●富永 雅弘  
事務所●佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323  
例会場●佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181

平成 19 年 2 月 14 日

第 2,781 回例会

NO 30

《本日》会員数 83名(出席免除会員 24名)・出席 45名・免除者出席 17名・欠席 15名・ビジター 2名・出席率 74.70%

《前々回》会員数 83名(出席免除会員 24名)・出席 49名・メイクアップ 11名

修正出席率 100.00%

## 会長挨拶

会長 中島 祥一 君

先日、まぐろはえ縄漁船「幸吉丸」の乗組員が全員救助されました。私も海を愛する人間としてもものすごく感激しました。

地球の2/3は海です。生命の発祥は海にあると言われるように、海は普段はとても優しく、多くの海産物も安らぎも与えてくれます。

しかし、機嫌を損ねると、大変なことになります。私も何度となく死の瀬戸際までいったことがあります。

船同士、しかも向こうから当てられたらどうしようもありません。ロータリーメンバーの中にも、当てられて九死に一生を得た人がいます。まさに板子一枚地獄です。海は生と死の綱渡りが尽きても止まぬ楽しさを与えてくれるのでしょう。

さて、最近魚が極端に捕れなくなってきているようです。日本が乱獲をするからだと言っていますが、今まで魚に見向きもしなかった人々が魚を食べるようになったからではないでしょうか。また、BSE、鳥インフルエンザも影響しているのかもしれませんが。

まぐろも鯛も鰯も何の魚も今のうちに腹一杯食べておきましょう。

## 例会記録

○ロータリーソング「四つのテスト」

○卓話者

長崎県北振興局 局長 入江 季記様

○ビジター

佐世保北RC 棧 護君

佐世保中央RC 四元 清安君

○ゲスト

地区交換学生 侍依仁さん

## 幹事報告

幹事 富永 雅弘 君

1. 囲碁同好会 名誉会長

PDG 田中 毅君(尼崎西RC)

日本支部長 二上 達也君(東京RC)

ロータリー国際囲碁大会開催のお知らせ

日程/平成19年4月13日(金)~15日(日)

会場/韓国 大邱市

登録料/13,000円

参加ご希望の方はGPFR日本支部(第2580地区ガバナー事務所内)

FAX 03-3452-1652にご連絡ください。

参加要領を送信いたします。

## 2. 第2740地区ガバナーエレクト

野口 清君

①次年度地区委員「推薦」についてお願い

(1)クラブ奉仕部門

出席委員会 委員1名

(2)国際奉仕部門

ロータリー財団委員会 委員1名

②2007-2008年度「クラブ会長研修セミナー」並びに「地区協議会・幹事部会」の同時開催について(ご案内)

日時/平成19年3月11日(日)

12:00 登録受付

13:00 開会～ 18:45 懇親会閉会

会場/ロイヤルチェスター佐賀

## 3. 第2740地区IMホストクラブ

松浦ロータリークラブ会長 勝山 善文君

2月24日(土)IMの事前ご案内

- (1)名札 例会場名札持参
- (2)登録受付 各クラブ代表者が受付
- (3)会場内座席 グループ別の座席
- (4)喫煙コーナー 玄関外の2カ所
- (5)ドリンクサービス 休憩時間のみロビーにて用意しております。
- (6)懇親会 懇親会場へはシャトルバスをご利用ください。  
懇親会終了後バスにて駐車場までお送りいたします。

## 4. 筑波大学 人文社会科学部

文部科学省特別推進研究グループ

教授 辻中 豊様

社会団体に関する全国調査のお願い

### 委員会報告

出席委員会 委員長 中川内眞三君

2月24日(土)、松浦で開催されるIM行きに関して

当初バスを予定していたものを自家用車に変更

AM11:00 石井海陸前に集合

(2)

### 慶 祝

例会委員会 委員長 米倉洋一郎君

○今月の誕生祝い

三浦桂一郎君(4日)

吉富 誠也君(8日)

井手 常博君(11日)

佐保 榮君(12日)

梅村 良輔君(15日)

川富 正弘君(26日)

富永 雅弘君(28日)

### ニコニコボックス

親睦活動委員会 有園 良太君

佐世保北RC 棧 護君

お世話になります。中島会長を激励に来ました。

佐世保中央RC 四元 清安君

今年初めてメイクアップします。よろしくお祈りします。

中島 祥一 会長、福田 金治君

外間 雅広君、梅村 良輔君

佐々木秀也君、石井 正剛君

藤井 隆君、町 孝君

玉野 哲雄君、山縣 義道君

県北振興局 局長 入江季記様の卓話を楽しみにしています。

岡 英樹君

先日、潮見小学校6年のクラス会を55年ぶりに初めて先生そして同級生45名のうち15名の出席のもと行いました。6年の時に書いた作文「私の将来」「僕の将来」を先生から出席者ひとりひとりに渡されました。当時描いた将来像と、それぞれ自分が歩んできた道を振り返りながら、なつかしい思い出話に花が咲き、浦島太郎になったような気持ちでした。

井手 常博君、吉富 誠也君  
佐保 榮君、梅村 良輔君  
川富 正弘君、三浦桂一郎君  
富永 雅弘君

誕生祝いありがとうございました。



ニコニコボックス 本日合計 20,000円  
累計 658,000円

## ロータリー3分間情報

雑誌委員会 町 孝君

「ロータリーの友2月号を読んで」



「ロータリーの友2月号」のP.26～27に「言葉の力が未来を開く — 元駐日韓国大使からのメッセージ」という記事が紹介されました。ロータリー米山記念奨学会はこれまで1万人以上の学友（元奨学生）を世に送り出しており、その中で最も顕著な活躍をされている学友の一人が崔相龍（チェサンヨン）元駐日大韓民国大使（現高麗大学政治学科教授）だそうです。

日韓国交正常化とともに来日、その後知日派として歩まれた40年、大使在任中は例の歴史教科書問題に奔走される日々であったことなどが紹介されています。

氏は1942年生まれでソウル大学を卒業後、1969年～1972年東京大学大学院の修士から博士課程に進まれ、米山奨学生になられたそうです。ロータリー米山記念奨学会が財団法人となって2年、まだカウンセラー制度も整備されていない時代だったそうですが、

世話クラブである東京日本橋RCでは多彩な内容の卓話に耳を傾け、東京城西RCでは家庭的な雰囲気の中で人間関係を深められ、東大の国際政治分野では日本人も含め初の博士号という学籍を残された、非常に優秀な方です。

帰国後、韓国の中央大学、ハーバード大学客員教授、高麗大学教授、外交通商部の諮問委員など数々の要職を歴任されています。

1998年、氏が外交通商部の諮問委員の時に、21世紀に向けて両国の新しいパートナーシップを構築する目的で「日韓共同宣言」が交わされました。

「日韓共同宣言って何だったっけ?」ということになりますが、韓国にとっては歴史的な政策の変更が行われた年なのです。

実は、この共同宣言を境に、半世紀にわたって禁止されていた韓国内での日本の大衆文化の解放が公式に認められるようになり、日本の大衆文化が広く韓国でも認められるようになったのです。

当時の大統領は金大中（キムデジュン）さんでしたが、大統領がこの大きな決断をした背景には、崔相龍氏の粘り強い説得があったそうで、そのことも紹介されています。

この時期は、ちょうど私が韓国と係わりをもつようになって3年過ぎたころで、韓国のことがある程度理解できるようになっていた時代でした。ですから、日本文化解放がいかに大変であったかを懐かしく思い出しながら紹介記事を読ませていただきました。

当時から韓国の家庭にはほぼ100%、最低一つか二つの日本製の家電製品（象印のポットが代表例）があり、富裕層はBSでNHKを見て日本の情報や流行を知り、大学生たちは隠れて日本の音楽を聴いたり、漫画を読んでいました。「日本へのあこがれ」「日本を知り、日本が成功している所を真似て国を良くしたい。」と多くの人が思っていますが、表向きは日本の文化にふれることは絶対にダメ。

日本人観光客が多い釜山では、あまり感じたことはありませんでしたが、私が大学で講義をしている蔚山や堤川といった地方都市へ行くと、列車やバスの中で日本語を話そうものならにらまれたり、露骨に嫌な顔をされるような時代でした。

ですから韓国内の反対の意見を押しさえるのは、ものすごい努力であったと思います。

でも、文化の解放によって10年の間で韓国も変化しましたが、日本にも韓流ブームというものすごい文化の解放をもたらしました。文化は優劣をつけるものではなく、長い歴史の中でいったり来たりしながら学びあうものであり、それは歴史が証明しています。お互いの文化の蓄積こそが歴史的な争点を克服する力になることは間違いありません。

そういうことの橋渡し役をされた方がロータリーの米山奨学生であったことに、ロータリアンとしての誇りを感じた次第です。

佐世保ロータリーでも侍依仁（シイジャン）さんというすばらしい交換学生をお迎えしています。ぜひ侍依仁さんにも米山奨学生として留学していただき、今回紹介されていた崔相龍（チェサンヨン）氏に負けないような活躍をされることを期待しております。

（釜山日報、韓国人観光客の動向）



## 卓 話

紹介者 プログラム委員会 藤井 隆君

### 『県北経済の概況』

長崎県県北振興局  
局長 入江 季記 様



#### 1. 長崎県の経済状況

日銀の1月の金融経済概況では、県北地域は、造船を中心に元気が出てきているが、業種によってバラツキがあり、全体として景気回復の実感が薄い。

県内総生産の産業別構成は、製造業比率が県全体で10.4%（全国平均の20.8%）、県北地域は8.2%である。

平成17年度の県北地域の製造業出荷額等は2,594億円、県全体の17.4%である。

#### 2. 北部九州の経済状況

北部九州は、宮若市、荻田町、中津市に自動車メーカー3社が立地し、2006年には生産台数が100万台を突破した。

福岡県などが目標に掲げる「北部九州自動車生産150万台構想」は現実のものとなってきている。

一方、伊万里市では、SUMCO伊万里工場が新工場を増設するなど、積極的な展開をしている。

#### 3. 長崎県の取り組み

本県では昨年10月に「長崎県新産業創造構想」を策定し、活力ある新産業の創造と集積を図ることにしている。

また、昨年12月26日には、県、関係市町、産業界が一体となって県北地域の経済活性化を図るため、「県北地域活性化対策協議会」を開催し、実効性の高い施策を打ち出すため、現在、検討・調整を行っている。

#### 4. 経済活性化のための製造業の活性化と企業誘致

(1) 長崎県が目指しているもの

「長崎県新産業創造構想」では、「ナガサキ型新産業」の育成を目指すこととしている。

〈5つの重点分野〉

- ①海洋技術や自動車産業などの「高度加工組立型産業」
- ②太陽電池や風力発電などの「新エネルギー・環境産業」
- ③創薬の研究開発、診断・計測分野などの「医療・福祉産業」
- ④ソフトウェア開発、情報サービス産業などの「情報・電子産業」
- ⑤質の高い農林水産物を活用した食料品製造などの「地域資源活用型産業」

(2) 企業誘致における取り組み

○企業立地上の長崎県の弱み

I 土地がない

平地が少なく広い用地の確保が困難で、地価が高い。(佐世保・長崎の平均地価は20,000円/㎡)

II 水資源がない 大きな河川がない

III 市場から遠い

消費地である関東、関西から遠く、運搬コストがかかる

IV 自動車産業などの高度加工組立型産業の部品調達先がない

V 大量の大型コンテナを取り扱うことができる港がない

○長崎県の強み

I 優秀な人材の確保ができる

- ・県内工業系高校・高専・大学卒の就職者の県外就職率が高い
- ・県内工業高校の難関である第3種電気主任技術者の合格者数は日本一

II 地元の給与体系が低い

- ・関東、関西に比較し、初任給は1割から2割程度安い

III 地震がない

- ・震度5以上の地震がない地域

IV 安心・安全な暮らしができる

- ・犯罪発生率が全国でも低く、交通事故による死亡者数は九州が最も低い
- ・工業団地周辺には充実した医療機関が整っている

V 豊かな自然

- ・農水産物が豊富であり、また、余暇や癒しの時間を過ごす場所が多数ある

○長崎県の誘致対象業種

本県の強みを生かし、集中的な誘致活動を行っている。

対象業種は次のとおり

- ①自動車関連
- ②半導体・液晶パネル関連
- ③産業機械関連
- ④情報通信関連、ソフト開発関連
- ⑤食品加工

○県北地域の誘致ターゲット

県北地域については、より地域的に立地の可能生が高い業種に絞り込んでいる。

①自動車関連

東彼杵町のグリーンテクノパークに昭和金属工業、八幡金属が立地、1月に睦工業が立地を発表。また、松浦市には住商エアバックシステムズが立地した。

一方、県北地域に誘致するための工業団地の残地が無くなってきているので、波佐見町に新たな工業団地を造成することを決定した。

平成19年度着手、平成21年度初めの完成を目指している。

②情報通信関連、ソフト開発分野

コールセンターとして佐世保市の創企社、マップジャパンの立地実績がある。

県としては、佐世保市崎岡町に、情報関連産業の受け皿として「佐世保ニューテクノパーク」を整備している。19年度には整備が完了する予定である。

また、情報関連産業集積施設として、ニューテクノパーク内に「佐世保情報プ

ラザ」の建設を進めている。19年度中に完成予定である。

### ③食品加工部門

実績としては、大手スーパーの国内産のオーダーに対応するため、松浦市にマルイ総合食品が立地した。

## (3) 地場企業振興への取り組み

### ①自動車関連産業への進出支援策

「長崎県自動車関連産業振興協議会」を本年3月に設立する。

事業内容は、

1. 参入にあたっての課題や条件等の講演会・セミナーの開催
2. 北部九州の一次部品メーカーや既に参入している地元企業の企業視察を実施し、品質管理等のノウハウ取得を図る
3. 会員企業が県外の展示会・商談会に参加する際の出展支援
4. 一次部品メーカー等に対する商談会の開催、並びに一次部品メーカー等による外注説明会や逆見本市の開催
5. 自動車メーカーOB等による参入に向けての技術指導
6. 自動車関連のイベント受発注情報などの提供

などを行うこととしている。

### ②新たな取り組み

19年度予算では、製造業または情報通信業との限定はあるが、事業拡大への取り組みにも助成を行うように計画している。

また、「長崎県新産業創造構想」の重点5分野において、地場企業が事業拡大や新規参入を図る場合には、通常よりもさらに踏み込んだ低利の融資制度を創設する。

さらに、工場等建設に対する助成措置は、一定の条件を満たせば地場企業も対象とすることを予定している。

佐世保市では、県に先立ち企業立地奨励金の見直しを行い、昨年10月から地元企業の工場等の新設や増設、移設に対して助成を行っており、県の制度と合わせると設備投資に対する企業負担が軽減されるものと期待される。

## 5. 県北地域経済の活性化

企業誘致と地場企業振興を車の両輪として、製造業の活性化に努めており、皆様のご理解・ご支援をお願いしたい。

### ※企業誘致に関するお願い

企業誘致は東京都を除く全道府県が行っており、厳しい地域間の競争である。

皆様方には、東京、名古屋、大阪に幅広い人脈をお持ちと思うので、企業経営者や担当役員など企業立地のキーパーソンを紹介していただくようお願いしたい。とりわけ、本県出身者は大きな人脈になる。

皆様方の協力を是非ともお願いしたい。



(今週の担当 町 孝)

クラブ会報委員会

委員長 古賀 巖 委員 小川 洋・長富 正博  
副委員長 隈元 勝則 委員 松尾 文隆・町 孝